2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	義肢装具学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　木4	教室名	5F装具加工室
担当教員	小田原 安成	実務経験とその関連資格	(義肢装具士)主に病院、養護学校で営業、義肢装具の採型と製作を行っていた。			

《授業科目における学習内容》

補装具の義肢・装具の種類や機能、義肢・装具の適応対象となる切断・離断やその他の疾患について学習していく。

《成績評価の方法と基準》

・ 期末試験(筆記)100%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・作業療法学全書 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学(協同医書出版社)
・図解 作業療法技術ガイド―根拠と臨床経験にもとづいた効果的な実践のすべて (文光堂)

《授業外における学習方法》

各授業の範囲の教科書を読むことで予習を行い、授業後は配布資料やプリントを整理し復習を行う。

《履修に当たっての留意点》

・ 予めテキストを読んで授業に臨むこと。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】シラバスを読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義肢装具学概論 補装具をについて学ぶ		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義肢総論　切断と義手、義足について学ぶ。		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 義手の適合検査が実施できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義手の構成要素、義手の訓練、義手の適合検査、仮義手について学ぶ。		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。 義手の適合検査が実施できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義手の構成要素、義手の訓練、義手の適合検査、仮義手について学ぶ。		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義手について筋電学を学ぶ。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の断端長と義肢の適応について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義手と適応疾患例(小児切断、前腕切断、上腕切断)について学ぶ。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の断端長と義肢の適応について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	義手と適応疾患例(小児切断、前腕切断、上腕切断)について学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	装具総論(下肢装具、体感装具、上肢装具各総論)について学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	装具総論(下肢装具、体感装具、上肢装具各総論)について学ぶ。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	適応疾患例　頸髄損傷、末梢神経損傷, 手の外科ハンドセラピー、脳血管障害について学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】教科書を読んでおく。(20分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(40分)
		各コマにおける授業予定	適応疾患例　頸髄損傷、末梢神経損傷, 手の外科ハンドセラピー、脳血管障害について学ぶ。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	切断の病態、義肢の種類や部品、その機能について説明できる。 装具の種類やその機能、適応対象について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】今までの総復習(30分) 【事後学習】国試過去問題(30分)
		各コマにおける授業予定	義肢・装具のまとめ 国家試験過去問題の演習を通して、 義肢・装具について復習と国試過去問題を行う。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。	スプリント制作のための材料	【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分)
		各コマにおける授業予定	スプリントの製作実習を行う。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。	スプリント制作のための材料	【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分)
		各コマにおける授業予定	スプリントの製作実習を行う。		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	指導者の指導の下で、熱可塑性樹脂を用いた簡単なスプリント作製ができる。	スプリント制作のための材料	【事前学習】製作するための予備知識を勉強する(20分) 【事後学習】症例によって適合するスプリントを作っているかどうか確認する(40分)
		各コマにおける授業予定	スプリントの製作実習を行う。		